

公演概要

座・高円寺 冬の劇場 24

## 第4回 演劇村フェスティバル

2012年1月18日（水）～2月5日（日）

会場：座・高円寺 1

【テーマ】劇場で笑おう

### ラインナップ

ブラジル『イエスタデイ』（1/18～1/22）

シベリア少女鉄道スピリッツ『太陽は僕の敵』（1/25～1/29）

ベッド&メイキングス『墓場、女子高生』（2/1～2/5）

企画：ヴィレッチ 細川展裕

提携：座・高円寺／NPO 法人劇場創造ネットワーク

後援：杉並区

## 演劇村フェスティバルとは？

今回で4回目になるこの企画。1回目は「がんばれ関西発の3劇団!」、2回目は「がんばれ早稲田発の3劇団!」、3回目は「SF」という趣旨で構えてみました。4回目の今回は、テーマを「劇場で笑おう」に設定してみました。未曾有の災害を経て、今の日本に必要な「連帯と再生」という精神。劇場で笑うことはそのことと遠くないように思います。むしろ今だからこそ「微力ではあるが、無力ではない」ことを信じて演劇に向き合いたいと考えます。

さて、劇場費と稽古場代は、僭越ながら弊社が面倒観ます。なので中身は自分たちでなんとかガンバってください。木戸銭はすべて芝居作りに役立ててくださいというこの企画。いつまで続けていけるかわかりませんが、いけるところまで行くつもりです。そして、継続の中で意義や価値を発見できればなによりです。

願わくば関わっていただいた方々にとって、このフェスティバルが新たな一歩の一助となりますように。

ヴィレッチ 細川 展裕

■ 第一回演劇村フェスティバル／2008年10月29日（水）～11月16日（日） 青山円形劇場  
劇団鹿殺し『電車は血で走る』

クロムモリブデン『テキサス芝刈機』

芝居流通センター デス電所『ヌンチャクトカレフ蛇鉄球』

■ 第二回演劇村フェスティバル／2009年10月15日（木）～11月1日（日） 座・高円寺1

タカハ劇団『モロトフカクテル』

総数姉妹『ソビエト ーマヤコフスキ生誕116年ー』

少年社中『ファンタスマゴリア』

■ 第三回演劇村フェスティバル／2011年1月19日（水）～2月6日（日） 座・高円寺1

ehon 『SWEETS』

ゴジゲン 『神社の奥のモンチャン』

おにぎり 『断食・とらわれて』

## ブラジル『イエスタデイ』

脚本・演出：ブラジリィー・アン・山田

出演：桑原裕子（KAKUTA）、柿丸美智恵（毛皮族）、肘井美佳

櫻井智也（MGR）、西山聡、諫山幸治、中川智明、近藤美月、中澤功、三科喜代、

橋本三雪、宮島朋宏、友松栄／原金太郎

料金：3,800円 / チケット発売日：2011年11月19日（土）

日程：1月18日（水）～1月22日（日）

■1/18(水) 19:00

■1/19(木) 19:00

■1/20(金) 14:00 / 19:30

■1/21(土) 14:00 / 19:30

■1/22(日) 14:00

【お問い合わせ】ブラジル事務局 080-5172-8266

恋人にフラれたとき、大ケガして血が止まらないとき、人格を否定されるほど説教されたとき、

神様に明日世界が終わりますと告げられたとき、どんな辛い時でも『笑える瞬間』はどこかに潜んでいます。

苦しければ苦しいほど、人間という生き物はなんとかして笑いたいという

愚かにもはかなく美しい性（さが）を持っているものです。

そんなことを考えながら、ブラジルのキャッチフレーズ

『苦笑系喜劇』は生まれました。

今回のブラジルは、「KAKUTA」桑原裕子、「毛皮族」柿丸美智恵を始め、狂おしいほど愛おしい『性（さが）』を感じさせてくれる女優たちを中心に轟（かしま）しい苦笑系喜劇をお送りします。

[B10] 1998年に脚本家・演出家のブラジリィー・アン・山田が、個人ユニットとして「ブラジル」を結成。その後、3名の俳優を加え、今に至る。毎回、魅力的な客演陣を集め、息苦しいほどのシチュエーションから起こる笑いのあふれるやり取りを見せる作風で、『苦笑系喜劇』を名乗り、どうしようもない人間たちの悲哀を、コミカルかつロマンティックに描く。

## シベリア少女鉄道スピリッツ『太陽は僕の敵』

脚本・演出：土屋亮一

出演：大川藍（アイドリング!!!）／ 篠塚茜、染谷景子、羽鳥名美子、石井舞、  
上福元沙織、鈴木由里、藤原幹雄、加藤雅人（ラブリーヨーヨー）、  
高松泰治（ゴキブリコンビナート）、篠原正明（ナカゴ）／ 小村裕次郎

料金：3,800円 ※若者割引 3,000円(25才以下・要身分証提示)

チケット発売日：2011年11月19日（土）

日程：1月25日（水）～1月29日（日）

■1/25(水) 19:30                      ■1/26(木) 19:30  
■1/27(金) 14:30 / 19:30          ■1/28(土) 14:30 / 19:30  
■1/29(日) 12:00 / 15:30

【お問い合わせ】PRAGMAX & Entertainment TEL: 03-3715-5317

今回参加させていただく「演劇村フェスティバル」のテーマは「劇場で笑おう」ということで、  
普段あまり劇場に足を運ぶことのない方々にも楽しんでいただけるような出し物が並んだらいいなと思いますし、  
少なくともうちはそうなるというか、僕が普段あまり劇場に足を運ばないのでそうならざるをえないというか。

いやあ、なかなか敷居が高いですね。映画に比べたらチケットは高いし、中でポップコーン食えないし。  
でもそれくらい頑張って何かを観るのもたまにはいいです。

頑張って観ることしか味わえないタイプの面白みは、なかなかおうちまで流れて来づらい今日この頃ですから仕方ないです。我慢して足を運んでみて下さい。（土屋亮一）

[B10] 1999年、作・演出の土屋亮一が雑誌やネットで出演者を募集して設立。「月9のドラマとか何も考えずに観てて、恋人達の別れのシーンで急に空から七人の悪魔超人とかが降りたってきたりしたら、どう考えても楽しいだろうなあ」みたいな類のくだらない衝動を、わざわざ舞台公演という形で提示し続ける大きな子供たちの集会所。2010年より「シベリア少女鉄道スピリッツ」に改称。

## ベッド&メイキングス『墓場、女子高生』

脚本・演出：福原充則

出演：安藤聖、吉本菜穂子、町田マリー /

松本まりか、佐久間麻由、亀田梨紗、下城麻菜、岸井ゆきの、岩本幸子 /

川本直人、植本潤 / 富岡晃一郎

料金：4,500円 ※学生割引 3,500円(要学生証提示)

チケット発売日：2011年11月19日(土)

日程：2月1日(水)～2月5日(日)

■2/1(水) 19:30                      ■2/2(木) 19:30

■2/3(金) 19:30                      ■2/4(土) 14:00 / 18:00

■2/5(日) 12:00 / 15:30

【お問い合わせ】PRAGMAX & Entertainment TEL: 03-3715-5317

最近まで東高円寺に住んでいました。

執筆に煮詰まると、妙法寺というお寺のお墓が気分転換の散歩コース。

そんな墓場で、ふと思いつき、生まれた作品が今回上演する「墓場、女子高生」です。

授業をさぼって墓場で跳ね回る女子高生達を、みなさまもお仕事さぼって、バイトさぼって、

学校さぼって、観に来て頂きたい。

そして、彼女達の笑顔の裏の哀しみと、それを解消するための大胆な選択を目撃して頂きたいのです。

哀しみを軽くまぶしてありますが、基本くだらない芝居ですので、気軽に足を運んで頂ければ。(福原充則)

[B10] 2011年、脚本家・演出家の福原充則(ピチチ5)と、俳優・富岡晃一郎によって旗揚げされることとなった劇団。「サルでもわかる哲学」をテーマに、矛盾だらけの世の中を、ちょっとだけ生きやすくすべく立ち上がった、照れ屋の理想主義者、二人組!そこそこイイ年齢!